

HSK N P O 法人 「文福」 ニュース ❀❀❀❀



「障」ちゃん



NO.257

冒頭の一言

(6)

このニュースが手元に届いた皆さん、その隣から覗き見をしている人も含めて、明けましておめでとうございます。

今年は雪も多く、県内のスキー場はけっこう賑わいそうです。冬だからといって家に閉じこもってばかりでなく、体をあたたかくしてお正月を楽しみましょう。雪道は車イスや杖など足元がすべりやすくなりますが、気をつけてソローリソローリといきましょう。外出の自由がきくくらいの雪ならいいなあ～

食っちゃ寝、食っちゃ寝の正月になるかもしれませんが、餅を食べるときはくれぐれも気をつけて、ミカンでも剥きながらこのニュースを読んでみて下さい。

—もくじ—

冒頭の一言 … 1	年頭年始のご挨拶 八木勝自 … 2-3	
オンライン飲み会報告 … 4-5	救命講習会報告 … 6-8	
学習会報告 … 9-12	運営会議報告 … 13	今後の予定 … 14-15
ありがとうコーナー … 16		

一九九四年八月四日第三種郵便物承認
工
事
毎
週
一
回
一
三
、
三
、
五
、
八
、
一
〇
、
一
三
、
一
五
、
一
八
、
二
十
、
二
三
、
二
五
、
二
八
日
発
行

年頭年始のご挨拶

—コロナのせいでパート3に変えて—

NPO法人文福理事長 八木勝自

今年2020年は「もううんざり。」「これからどうなるんだろう。」「もうほどほどにしてくれ。」と人々が思う年だったと思います。それは何故そう思うかということ、言わずと知れたコロナウィルスのせいです。今年の2月よりこのコロナウィルスに感染しないために世界中や日本の生活様式や社会がガラリと変わってしまいました。人々は自分がコロナウィルスにかからないようにとか、人にうつさないように手の消毒とうがいをして日常的にはマスクをしたり「3気密」(密閉・密集・密接)を避けるようになりました。おかげで文福食堂の活動も今年の3月以降はほとんどできないというありさまでした。

それから今年の3月から公共の小中高大学も6月まで休校となり、職場も行けなくなってコロナで飲食店を始めとして日常生活用品を販売しているスーパー、コンビニ、ドラッグストア以外は国や自治体の自粛要請で皆閉ざしてしまい、街に人がいなくなって人々は仕事を解雇された人もいて、不景気となって貧困の差が広がってしまいました。介助や介護が必要な障害者でいえば、自分がコロナにかかったら介護してもらえないのではないかと頻りに部屋の中を消毒したり、予防のため色々なことをやってきているし、社会の人のほとんど、顔の表情がわからないくらいマスクをして聴覚障害者の人やろうあ者は口話(口の動きで言葉を理解する)なども全然できず、手話も一般人同様、顔の表情がわからなく何を言っているかわからない状況になったり、全盲の視覚障害者も介護の同行援護で介助者が手を引いて行動したりすることをためらったり、拒否されるとということが起こり、生活に支障が出てきました。

それにもう少しだけマスクの弊害を考えれば、6月から公的學校は徐々に開かれてきたけれど、先生や周りの人がマスクをしていて表情がわからなかったり、赤ちゃんも親や周りがマスクをしているので親の感情や周りの人たちの喜怒哀楽の表情がわからなくてこのままいけば人の情緒が状態がわからない子どもができてしまうのではないかと心配されています。世界は交流や

交通の発達でこのような急速なコロナウィルスの感染が世界中に広がっています。人々は疑心暗鬼になって人間関係や社会は殺伐としてきました。人間と違った、ただの動物は単独でまたはそれに近い環境で生きていますが、人間は人と助け合ったり感情を出したりして生きれるものです。私はこのコロナを予防するなどと言っているわけではなく、この原稿を書いたのは12月12日で2日前に英国ではコロナワクチンが開発され接種をし出しました。そしてこのコロナウィルスで年間5万人程は風邪で亡くなるのに、皆が予防したことで日本に限って言えば、風邪などの死亡数も5分の1に減っているのではないかと思います。けれど私はこのコロナワクチンの開発に3年はかかると思われていたが、1年で開発されたことに多くの疑問を持ったりしています。ここで私の疑問を少し書きます。

まずこのコロナウィルスが発生した原因は、作為的に〇〇国が作ったとか森林のコウモリでウィルスが変化して新型コロナウィルスになったとか色々言われていますが私は、人間が豊かになるために自然を開発しすぎて一時のウィルスが変化したものだと捉えています。そして予防もしない方がよいとは言いません。した方が良いに決まっています。しかし、行き過ぎるとやはり今度はコロナウィルスが変化して新、新型コロナウィルスという、今のコロナウィルスより強力なものが出てくるのではないかと心配しています。そして今の新型コロナワクチンはこれまでのインフルエンザ予防ワクチンと全然違ってこれまでのウィルス予防はその菌を薄めて抵抗力を付け抑え込むといったものでしたが、今のコロナワクチンはウィルスに突起物を被せてそれを免疫体で攻撃するというもので同じワクチンといっても、方法が違うのでワクチンによる弊害や又、こういったワクチンができるということは逆に本当に人工の人の手によってこのワクチンというか、強力なウィルスを作ろうと思えば、作れるわけで、そういったことも念頭においておかなければいけないなと思っています。しかしこれだけ社会が人間関係が殺伐となって自殺者などが増えたのは全くの問題だと思っています。そういうつもりで私はこのウィルスで悪化した社会をなんとか逆手にとって人々が豊かに生きていける社会を作りたいと密かに来年に期待して私もある事を着々と準備しています。それを発表できる日が来たら、文福始め多くの皆さんに協力を求めています。来年は障碍者に限らず、皆がこれだけ酷い目にあったので希望を持てるようにしていきたいと思っています。

今こそ人間の力ではなくて、人々の力が発揮できて希望ある社会を作り出して行きたいと思っています。試練の来年です。皆さんで頑張りましょう。

第 5 回オンライン飲み会報告 & 次回お知らせ

去る 11 月 20 日（金）に第 5 回オンライン飲み会をしました。テーマは「今年やりたかったけどやれてないこと」でした。今年は言わずもがな新型コロナウイルスにふりまわされた 1 年であったように思います。おそらく振り回されていない人はいないのではないのでしょうか。「3密」などという言葉も流行語対象に選ばれてしまう程に。大賞の言葉はもっとポジティブなものにならんかったがかという思いは否めん。いや、報告をします。

今回もではありますが、19 時始まりとは言え、実際に始まったのは 19 時 30 分過ぎからでした。参加人数は全員で 10 名ほどでした（夢宙人含）。内容については全体的に、〇〇へ行けなかった。とか旅行に行きたかった。などそういうのが多かったです。詳しく言えば、毎年ボランティアに行っていたのに、行けていない。だったり、カードゲームが出来ない。だったり、彼女が欲しい。だったり、同窓会に行きたい。だったりと千差万別ではあったものの、共通して言えるのは先にも書いた通り、〇〇へ行きたい。だったり、人と会いたい。といったことでした。皆さんの話を聞き、やはり人は人によって支えられているんだと改めて思いました。実際に会って顔を見ながら話したり、騒いだりすることで、嫌なことを忘れてたり、気が晴れたりすることもあると思います。それが制限されている今だからこそ、そうしたいんだろうなと。そんなことがうかがえる第 5 回だったかなと個人的には思います。

そして、今回面白かった事といえば、テーマからの発展というか、その人の内面や背景が知れたことだと思います。その人が普段何を考えているのかを聞けることは少ないし、じっくりと話せる場も実はなかなかないのではないかと思います。なので、今回だけだったのかどうか分かりませんが、そういう機会になり得たと言うところで、なかなか良かったと思います。皆が出来ていないことを話す中で、1 日 1 日明日死んでも良いように過ごしている。と言う強者も中にはいました。

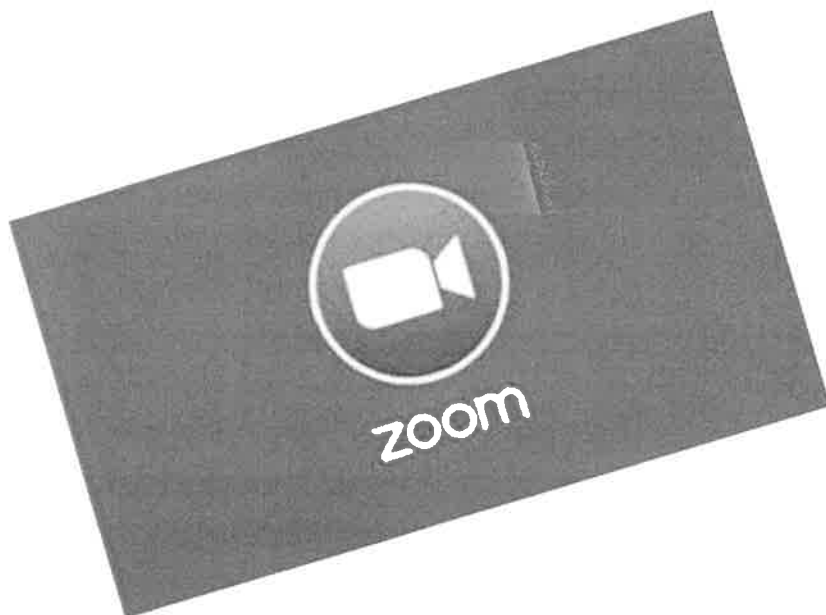
とまあ、第 5 回にして今までで 1 番盛り上がった回だったのでと個人的には思います。そんなオンライン飲み会ですが、まだ続きそうです。参加したいと思った方は是非気軽な気持ちで参加していただけたらと思います。(基本だらだらと話しているだけです。)

では、第 7 回の日程は下記に。

次回のお知らせは下記に。

日時	1 月 15 日 (金) 1 9 時 3 0 分～終わるまで
テーマ	未定 (第 6 回にて決まり次第、夢宙人ブログ & 夢宙人メンバーのブログ「ぼんこのめ」にてお知らせします。)
アドレス	https://zoom.us/j/93546654000?pwd=Wk4rUWQ0eHR5Mm5scHBrRW9uN1NvZz09
ミーティング ID:	935 4665 4000
パスコード:	2020115

※今回もパスコードが設けられています。ID を入力後パスコードの入力もお願いします。



再び救命講習会を行いました。

去る 11 月 11 日と 20 日に富山消防署より派遣された応急手当指導員の指導の下、救命講習会を行いました。前回は 3 月に行い、参加できなかった方々に声をかけ、合計 15 名が受講しました。

講習の内容は「普通救命講習 I」の 3 時間で、成人に対する心肺蘇生法・AED の使用方法・止血方法・異物除去などを習いました。

2 回とも指導員の方の説明がとても分かりやすく、普段中々会えないヘルパー同士が出会える機会になり、積極的な質問もたくさん出て、和気あいあいの雰囲気が進められました。

人の命を守るための大切な講習です。まだ受けておられない方は是非次回受けてもらいたいです。今は事業所ごとで受けてもらっていますが、一般枠でも講習会を行っているそうです。ホームページを見て下さいね。

受講された方々から感想をお寄せ頂きましたので、ここに掲載します。

文責：森田

救命講習を受けてみて

スタッフ：先祖貴代

最初、私は「救命講習を受けて下さい」と聞いた時は、「え〜っ」と思いました。

私の中では、難しいのではないかと思ったからです。

あれこれと分からない用語が出てきたりしても頭には入らないし、出来る

事なら受けたくないなあと思いましたが、いざ受けてみたら、意外と楽しく学ばせていただきました。講師の先生も女性だったし、やさしく教えてくれたので、今では受けて良かったと思っています。

救命講習の感想

アルバイト：^{すえいし}居石真理

先日、私にとっては3年ぶりの救命講習会に参加させていただきました。倒れている人がいた時の対処法やAEDの使い方、心肺蘇生法のどれもが前回の講習以来、時間と共にうろ覚えになってしまっていたので改めて再確認しながら学ぶことができ良かったです。今回の講習では、呼吸が確認できない場合におこなう心肺蘇生法の胸骨圧迫（1分間に100回が目安）について「アンパンマンの主題歌」や「世界にひとつだけの花」のリズムがそれに近いことを教わり、その場でやってみると上手くできていると言われたので、いざという時にも忘れないようにしたいと思います。救急車が来るまでにできることを適確に行うことで救える命があること、また、いつどこで救急救命の必要な事態に遭遇するかわからないからこそ、定期的な講習への参加がとても大切だと感じました。

救命講習会に参加して…

アルバイト：M

数年前に参加した時とは、実技の方法が変わっていたり、質問に対して細かく的確な返答をしてくださりととても分かり易い講習会でした。

受講生の話しに、参加者全員が意見や考えを話せたり、講師の方の気さく

な余談もあり、気構えていた思いが軽くなりました。

やんわり ふんわりしていた雰囲気、緊張感も和らげてくれたお陰で救命講習会への受講は私にとっては良い！経験になりました。

有難う御座います。

AEDを使用する場に遭遇するのはあまりない事かもしれませんが、講師の方のお言葉をお借りするなら富山県の県民性は【目を合わせてお願いします】とお願いしたら、「協力していただけますよ。」…との事です。

私も富山県民！小さいながら自信の蕾が育ちそうな予感がします。

ともひろ
アルバイト：長谷川 倫 宏

とっさに動く為にも、普段からのイメージトレーニングが重要であり、改めて動きを見直せたので、とても良かったです。



指導員の説明を真剣に聞いています。



AEDを使って、実演中～。

連続学習会報告

河上千鶴子

コロナ禍における人権を考える

～ウイルスは人権を侵しているのか？～

去る12月5日に、サンフォルテで、今年度初めての学習会を行いました。春から、新型コロナウイルス感染症が大流行して、緊急事態宣言があり、三密、自粛で、文福の介護・介助者派遣事業部以外の活動も中止せざるを得ない状態が三カ月ほど続きました。

今回の学習会を企画した時点では、まだ、第3波が来ていない時でしたが、日が経つにつれて、東京、北海道、大阪等で、感染者が増えて来て、富山でも毎日感染者が出て来ました。それで、今回の学習会は初めての試みとして、グループ討論をしようと話していたため、学習会のスタッフ間でいろいろ感染予防対策は、どうしたら良いのか話し合っ、準備が本当に大変でした。

しかし、それによって多様な考えをお互いに受容しながら進める必要があることを準備段階で学びました。

さて、前置きが長くなりましたが、今回のテーマは「コロナ禍における人権を考えるーチフスのメアリー～ウイルスは人権を侵しているのか？～」で行いました。始めに、チフスのメアリーという人が、どういう人だったのか何故、生涯隔離されたのかをパワーポイントを使って説明しました。映画とかがあれば、良くわかるのですが、残念ながらなかったのです。コロナ感染者の中にも無症状の人がいますが、このチフスのメアリーも健康保菌者だったのです。似ている所があるので、医療従事者やコロナ感染者も家族も人権侵害されているという報道があります。学習会スタッフとしては、そこをどう考えていくのかを、みんなで話し合えたら良いと企画しました。

パワーポイントと資料説明の後、4つのグループで、チフスのメアリーに



ついて、どう思ったかをそれぞれがメモを書き、各グループでまとめて、発表してもらいました。

**「テーマ1：チフスのメアリーのパワーポイントを見て感想を交換する
隔離と人権についてどう考えるのか？」**（発表順に掲載しています。）



3グループの発表 メアリーの話聞いて今も昔も差別は変わらないな。

100年前であろうと変わらない。大衆心理は、今も昔もそんな感じなのかと思います。どちらも差別を示している。

隔離を強制する事を許されてしまう影響があって埋もれてしまいがちな事がたくさんある。メアリーの話聞いて一回目の隔離より

二回目で23年も世に出られなかったのはどういうことなのかなと思う。

4グループの発表 最初、環境が原因だと言われていたのに、何故個人が原因だと言われるようになったのか、保菌者という考え方がこの当時はなかったんじゃないかと。他にもキャリアと言われる方はおられるんですが、何故メアリーさんだけここまで扱いになったのかという話になり、メアリーさんは移民だった。貧しかった。当時は人権という考え方が確立してなかったんで、そういう境遇によって差別され、無期限に隔離され続けた。仕事も他に選べなかった。無症状、今、PCRを拒否したら罰金を科す。という話が出てきておりますが、これも行き過ぎると人権侵害にあたるのではないかと。

2グループの発表 皆が感染症にかかったら、差別とかはなくなって皆関係なくなる。ただ情報を共有したり、それしかないのではという意見が出ました。もう1人の方はなぜメアリーさんは約束制約を破ってしまったのかという疑問を投げかけられ、それは周りからは「納得出来ないからじゃないか」という声がありました。メアリーさんの頃は、感染は誰にでも起こりうるという認識ではなく、誰でも感染するとわかっているのに、原因を調べて特定の人を攻撃する、簡単に攻撃するのは何故なのかというのもあり。また、今はSNSがあって個人が簡単に意見を述べ合うこのご時世だから昔も今も変わらない気がする。SNSは怖いという声がありました。

1グループ発表 出た意見としては、メアリーは社会のはみ出し者という存在になったことに対して、国が強いから個人が立ち打ちできなくなった。感染予防になっていない。検査を受けたがらない人が悪者になってしまうのはおかしいという意見もありました。

Aの意見としてはメアリーさんがキャリアになることで、③グループも言っていたが、誰かを悪者に仕立て上げる事で安心する。マスコミがその心理をあおり、皆がそれに納得する事でメアリーさんがずっと島に閉じ込められると私は思ったのでメアリーの立場としては、メアリーの思いを理解できるそういう視点が逆に必要。公平中立に物事を見る視点が必要。後、マスコミは自分の主観で物事を語ると記事を見る人もそれだけの影響力があると思うので見る人も公平中立に見る目が必要。どの場合においても反対意見を尊重する事が自分は必要だと思う。



テーマ2：コロナ禍の現状において考えたこと、思ったこと、注意したこと、重度介護現場の状況をどのように思ったか。要介助者と介助者の関係はどうか

時間の関係で、各グループ2人ずつ選んでもらって意見を発表するという方法に変えました。この場では、ページ数の関係で全部は紹介しきれないので、ご了承ください。

[三人の障害者から]

- ・ヘルパーが入らない。病院が受け入れないのではないかと。死の恐怖
- ・いろんな社会的制限…安全対策、外出・仕事の制限
- ・関わっている人の裏が見えて最悪
- ・人間社会が自然を破壊したり造ったりしたから
- ・ワクチンがこんなに早くできるとは思わなかった
- ・ワクチンが出来るという事は逆に人間ものすごい怖い事だと思う
- ・それを考えながら、予防してもらいたい

[介助者から]

- ・コロナにかかったら、重度障害者は死ぬ確率が高いのに、濃厚接触者と

ということで介助者が回らなくなる。

- ・ どうしたらよいかわからない。
- ・ 結構、神経質になっている
- ・ 感染病対策の当たり前に気を付けるしかない
- ・ 消毒は普通におこなっているが、消毒のし過ぎで、手が荒れてしまうが、自分の身を守るために臨機応変に対応していくしかないと思い直した

[介助をしている学生から]

- ・ 無症状者の自覚のなさが怖い、介助していて、無症状で、障害者にうつすのではと、怖い。

[介助者とその友人から]

- ・ コロナはただの風邪
- ・ PCR検査はDNA（編集者注：RNAの間違い？コロナウイルスはRNA型）を見るもので、ウイルス本体を見るものではない
- ・ コロナの自粛によって経済活動、子供の活動が奪われた
- ・ 政府・マスクミ云々でなく、自分で調べて真実にたどり着く必要がある

[反論]

- ・ キャリアは自覚症状がない理由などで検査数が少ないし、PCR検査もやや精度が低いので疑問が出てくるのは否定できないが、感染の広がりからキャリアから感染が広がっているという推測は合理的。
- ・ キャリアへの差別とは別問題

という意見が出ました。今回は特にまとめる事はしませんでした。それぞれの意見を聞く事で、今後の参考になればという思いと、身近に感染者や濃厚接触者が出た時に、少しでもチフスのメアリーの事も思い出して冷静に対応してもらえたら、良いと思っています。

今回の学習会を行うに当たっては、写真では、部屋が狭いように見えますが、二部屋借りました。参加者には消毒と検温をしました。その上で、密を避けるためにグループ分けも距離を取り、机の上には、パーティションを置いて、フェイスシールドを付けてもらいました。

ここまで、感染予防対策をして行った学習会ですが、行って良かったです。協力してくださった方々ありがとうございました。

運営会議報告 2020.11.18 現在

●各部からの報告

学習会

「コロナ禍における人権を考える」というテーマで 12 月 5 日(土)13 時半～行います。参加人数の確認メールを送るので返信お願いします。

障害者部会

11 月は休日とぶつかり会議報告は無しです。

介護・介助派遣事業部

ザ★カイジヨの在宅実習が一部残っているが、ほぼ終了。
来年度、どういう体制でやるか考え中。決まり次第お伝えします。

レクリエーション部会

今週金曜日にオンライン飲み会を行うので、参加できる方は是非参加下さい。

障ちゃんニュース発行部

只今編集中。大方終わったので、金曜日に印刷を予定しています。

まっち発行部

今月中に製本予定。次回のテーマはストレス解消。2 月末〆切 3 月末発行予定。

●事務局より

・冬季賞与について。今期はコロナの影響で 4 月～6 月の収入が落ち込みましたが、通常通り支給することに理事会で決定し、12 月 10 日支給です。

・今年はクリスマスも忘年会・新年会も行えないので、12 月の運営会議の時にお持ち帰りの何かを渡そうと考えていますので、お楽しみに！

●事務所の年末年始の休みについて

12 月 29 日(火)～1 月 3 日(日)で決定

●次回の運営会議

次回は 12 月 16 日(水)サンフォルテ 307 号室 13 時 30 分～です。

報告者；久保



◆今後の予定◆

このコーナーでは、基本的に文福や他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願ひします。

◎子育てプラスセミナー

**将来、子どもを性暴力やハラスメントの加害者、被害者にしないために
～ジェンダー平等時代の「男の子」の子育て論～**

開催日時：2021 年 1 月 23 日（土）13：30～15：00

（講演はオンラインで会場または自宅に配信されます）

「これからの男の子たちへ～ジェンダー平等時代の子育て論～（仮）」

講 師：弁護士 太田啓子氏

「これからの男の子たちへ」（大月書店）の著者である講師が「親や周囲が無意識に子どもに男の子らしさを押し付けている？」という視点でお話しさせていただきます。

会 場：富山県民共生センター「サンフォルテ」または自宅受講

募集定員：来館受講 20 名程度 自宅受講 30 名程度

費 用：無料

希望受講場所（サンフォルテまたは自宅）を備考欄に記入してください。

オンライン配信は Z o o m を使用します

申し込み方法・お問い合わせ：

サンフォルテホームページ、F A X、電話からお申込いただけます。

T E L（076）432-4500（祝日・月曜日休み）

◎サンフォルテカレッジセミナー

恋愛相談から見えてくる「男らしさ」の呪縛

～俺たちはこのままじゃ、まずいんじゃないだろうか～

開催日時：2021 年 2 月 7 日（日）13：30～15：00

講演はオンラインで会場または自宅に配信されます

講師：桃山商事・文筆家 清田隆之（きよた たかゆき）氏

恋バナ収集ユニット「桃山商事」代表として、恋愛とジェンダーの問題を発信してきた講師。恋愛相談から見えてきた「男らしさ」の呪縛についてお話しいただきます。

会場：富山県民共生センター「サンフォルテ」または自宅

募集定員：会場 30 名程度 自宅 20 名程度

費用：無料

<申込締切> 一時保育申込締切 1/24

（5 か月～未就学児まで。実費 300 円）

申し込み方法・お問い合わせ：

サンフォルテホームページ、FAX、電話、往復はがきからお申し込いただけます。

TEL（076）432-4500（祝日・月曜日休み）

インターネットでお申込の際は、備考欄に希望受講会場をご記入ください。

ありがとうコーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今年もよろしくお願ひします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



新年明けましておめでとうございます。とは言ってもこのニュースが届くのは、まだ年の瀬だと思います。

さて、コロナ禍で迎える新年は、いつもとは違うお正月ですね。新しい年を迎えるにあたっては、いろいろな事を考えるのですが、この年は、どうなるのか皆目見当が付きません。でも、夏には、東京オリンピック・パラリンピックが開催される予定ですが、それまでに少しは、コロナが収まってくれることを願っています。 (アパッチ)

2020 年度 新規会員・継続会員

前田 位久代さま 安村 美希さま 東 初美さま 加藤 正之さま
矢賀 道子さま

カンパ

加藤 正之さま 柳川 昌亮さま

いただきもの

松田 光代さま 升谷 千春さま まき(お好み焼き)さま 吉田 都さま
能登 泰子さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 3 1 2

編集人：特定非営利活動法人 ^{ぶんぷく} 文福

〒930-0887 富山市五福 3734-3

e-mail:bunpuku@arrow.ocn.ne.jp

HP: <http://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 4 4 1 - 6 1 0 6

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。